

浸透対策工法の事例（千曲川）

	<p>ドレーン工法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・川裏のり尻を透水性の高い材料に置換え、フィルター材により堤体内の土粒子の流出を抑制しつつ、堤体内の浸潤面を低下させる ・浸潤面上昇を抑え、堤体せん断力低下抑制 ・のり尻部をせん断強度の大きいドレーン材に置換え、すべり安定性を向上
	<p>表のり面被覆工法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表のり面を難透水性材料（土質材料または人工材料）で被覆することにより、河川水の堤体への浸透および天端からの降雨浸透を抑え、堤体せん断力の低下を抑制
	<p>断面拡大工法（押え盛土）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・浸透経路長を増加させること、及び川裏側のり尻近傍の基礎地盤からの浸透圧に対して、上から载荷することにより抵抗
	<p>川表遮水工法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・川表のり尻に止水矢板等の遮水壁を設置し基礎地盤への浸透水量や水圧を低減
	<p>ウエル工法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・川裏法尻の粘性土層等の不透水性材料を砕石等の透水層に置き換えることにより、川裏法尻付近に発生する過剰な浸透圧を低減